

【6年生】

	児童に身に付けさせたい力	授業改善のポイント
国 語	○文学的な文章において、情景描写などの表現の工夫に着目したり、イメージを膨らませて読んだりする力 ○説明的な文章において、指示語の読み取り、語彙等に課題があることから、叙述を基に筆者の考えを捉えたり要旨を把握したりする力 ○言葉の意味を正しく理解したり、文章を読んで具体的な様子をイメージしたりする力 ○まとまった量の文章を書く力 ○既習の漢字を身に付ける力	○「読み解く力」の育成について計画的に指導を積み重ねる。特に「照応解析」（指示語の読み取り）、「イメージ同定」（図表や絵や写真等と文の関係から読み取る）「推論」（既習事項を根拠として、新しい知識を獲得する）については意図的・重点的に指導を積み重ね、各力を育成する。 ○文学的文章の主題、説明的文章の要旨につながる構造や叙述の捉え方を指導し、学習を積み重ね、読む力、把握する力を育成する。 ○様々な読解の場面で、意味が曖昧だったり分からなかったりする言葉を辞書やインターネットを活用して調べ、意味や使い方を正しく捉えながら学習をすすめ、生活の中で適切に使える力を育成する。 ○意見文や図書推薦文など文種に応じて、書く手順を明確にしたり、モデルを示したりして指導を行うことで、書き表し方を身に付けさせるとともに、文章を書くことへの抵抗感を少なくし、書く力を育成する。 ○漢字の授業の際に既習事項を確認したり宿題を活用したりして繰り返し学習できるようにする。漢字単体だけでなく、熟語や短文での練習を積み重ね、漢字を身に付ける力を育成する。
社 会	○身の回りの生活と、政治との関連性について理解する力 ○教科書の本文等にかかれている内容と、年表などの資料を関連させて、総合的に読み取る力 ○学習用端末を活用した情報収集の際に適切な情報を収集し、内容を理解して自分の言葉でまとめる力	○児童が政治を身近なものとして捉えられるよう、公共施設や生活に関わる制度等の具体的事例を教材として活用し、日常生活と政治との関連性について理解する力を育成する。 ○基礎的読解力を意識した発問や教具の工夫を行う。また、年表や資料の見方や考え方について系統的な指導を行い、出来事の順序や結び付き、人物の働きを意識しながら資料を読み取る力を育成する。 ○学習用端末を活用して協働して調べたり、まとめたりする機会をつくり、適切な情報を収集し、内容を理解して自分の言葉でまとめる力を育成する。

算 数	○小数・分数を用いた四則計算を正確に行う力。通分・約分する力 ○面積、体積の公式を活用した複合図形の求積の力 ○割合の理解や、伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて知りたい数量の大きさを求めるために立式する力	○整数や小数・分数の四則計算は、筆算の仕方、小数点の移動、通分や約分等基本的事項を押さえて学習活動に入る。繰り返し計算問題に取り組むことで、計算方法の意味や違いを理解できる力を育成する。 ○面積、体積については、既習の平面図形と立体図形の意味や性質、公式の意味と使い方の指導を繰り返し行い身に付けさせる。また、様々な複合図形の求積問題も求積できる力を育成する。 ○割合については、実生活の具体的な場面と対応させながら実感とともに身に付けさせる。比例の学習では、数直線を用いて関係を捉える活動を意識的に設定し、比例の関係から立式をして答えを求める力を育成する。
理 科	○物事の事象から疑問をもち、課題を解決していくための学習計画を立てる力 ○既習事項などを基にした仮説を立てたり、結果から考えられることを根拠をもって書いたりする力 ○学習したことを、日常生活に生かしたり、身近な事象と結びつけて考えたりする力	○疑問・問い・予想・計画・結果・考察・結論等学習の流れを一貫して行うことで学習計画を立てる力を育成する。 ○観察や実験の結果から考察し、結論を導き出す際の文型を示し、考えの基本的な書き方を指導する。また、既習事項を基に仮説を立てたり、結果から考えられることを根拠をもって書いたりする力を育成する。 ○身近な事象から問題づくりを行い、実験や考察などの体験的な活動を多く取り入れることで、実感を伴った理解を導く。そして、理解したことを日常生活に生かしたり、身近な事象と結びつけて考えたりする力を育成する。
音 楽	○音楽のよさや特徴を感じ取り、その理由を考えながら、自分なりの思いや考えを表現する力 ○友達との感じ方や表現の違いを認め、自分の表現を深める力	○聴き比べや表現の工夫を通して、児童が主体的に音楽と関わり、自分なりの思いや考えを表現する力を育成する。 ○ICT等の活用も含め、自分の課題やペースに応じて試行錯誤できる場の設定と、友達との意見交流や演奏の聴き合いを通して、協働的に表現を深める力を育成する。
図画工作	○主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組む力 ○主体的に材料や用具、人と関わり合い、見方や感じ方を広げられる力	○鑑賞で自分の活動を振り返ったり、自他の表現の違いに気付いたりする経験を増やして、主体的に活動する力を育成する。 ○自分たちで活動をつくる経験を通して、材料や環境、友達同士の関わり合い見方や感じ方を広げられる力を育成する。

	○形や色などを基に、自分のイメージをもち、自分だけの表現に自信がもてる力 ○表したいことに合わせて既習の知識・技能を生かす力 ○既習の学習を生かし、材料・用具の選択や表したいことを見付けるなど自己選択や決定ができる力	○自分の感覚や行為から自分なりのイメージを生み出すため、じっくり見る、触る、などから表現する力を育成する。 ○手や体全体の感覚を働かせ、表現活動に取り組む児童を増やし、既習の知識・技能を生かす力を育成する。 ○系統的に材料用具を活用できるよう、またテーマを自身で考え表現できるようにし、自己選択や決定ができる力を育成する。
体 育	○他者意識をもち、誰とでも協力して活動する力 ○学習を振り返り、自己の課題を客観的に判断し、学習に生かしていく力	○運動が苦手な児童も楽しめる運動の仕方やルールを工夫して、勝敗だけでなく、作戦を立てたり、協力したりする楽しさを味わわせるとともに、チームワークの大切さや良いプレーに注目し、互いに認め合える態度を育て、他者意識をもち、誰とでも協力して活動する力。 ○学習の終わりには、できるようになったり考えたりしたことを振り返らせるだけでなく、他者のよかったところを想起させ、共有する機会を設けることで、自己の課題を客観的に判断し、学習に生かしていく力を育成する。
家 庭	○手縫いやミシン縫い、アイロンがけ等の技能を生かして制作する力 ○生活に目を向け、自分の考えを深めて、活動・実践していく力	○教材教具を工夫し、児童にとって分かりやすい授業を目指していく。また、個に応じた指導を行い、技能を育成する。 ○児童が家族の一員であり、生活者であると自覚できるよう、家族の中での自分の仕事を意識させ、毎日の生活を考えながら行動し、分の考えを深めて、活動・実践していく力を育成する。
道 徳	○道徳的価値を把握し、登場人物の状況や気持ちを自分事として捉えて考えを書き、十分な意見交流をする力 ○自分の生活を振り返り、道徳的価値に照らし合わせて、できた経験、できなかった経験を想起し、それについての考えを書く力	○登場人物の気持ちに沿って考え、道徳的価値に迫ることができる発問や異なる立場からの発問、学習活動を工夫する。また ICT を活用するなどして、十分な意見交流をする力を育成する。 ○毎時間の学習において、道徳的価値について考える活動の後、自分の経験を振り返ったり、友達の経験を聞いたりする学習活動を位置づけ、積み重ねていき、考えを書く力を育成する。
総合的な学習の時間	○自らの課題をもち、見通しをもって主体的に追求していく力	○現状の課題から課題設定を行い、探求的な学習を繰り返し行うことによって、見通しをもって主体的に追求していく力を育成する。

	○課題に沿った適切な情報を収集し、情報を理解して自分の考えを具体的に記述する力 ○身の回りの環境や情報から、課題を把握し、課題解決をする力	○複数の情報源から情報収集することや資料から読み取った情報を整理分析する力を高め、自分の考えを表現する機会を多く設けることで、自分の考えを具体的に記述する力を育成する。 ○体験や調査などの活動を通して、地域教材や体験的な活動の工夫など導入を工夫するとともに、自分の疑問に対する予想を基に学習計画を立てるようにする。身の回りの課題を明確にさせ、その解決のために自分たちができることは何か、見通しをもたせる指導を繰り返し行い、課題を把握し、課題解決をする力を育成する。
外国語	○人前で積極的に英語を話す力 ○長いフレーズにおいても聞き取り、あきらめずに意欲的に活動する力	○授業の中で、英語に触れる機会を多く設けるようにする。指示についても、ALを活用し英語を多く使用するようにする。併せて、楽しみながら英語でコミュニケーションをとる活動を積極的に設定し、積極的に英語を話す力を育成する。 ○長いフレーズの場合はゆっくり読んだり、短く区切って読んだりするなどの工夫をし、意欲的に活動する力を育成する。 ○デジタル教科書を積極的に取り入れ、英語に親しめるようにし、意欲的に活動する力を育成する。